

南伊勢高校度会校舎活性化推進計画

～令和2・3年度の重点的取組～

令和元年12月

度会校舎活性化推進委員会

はじめに

南伊勢高校度会校舎活性化協議会が平成26年9月3日に策定した「南伊勢高校度会校舎活性化計画」(以下、「活性化計画」という。)にもとづき、平成26年度～27年度に「(1)進路支援プロジェクト」「(2)地域連携プロジェクト」「(4)学校広報プロジェクト」の3つを柱とし、具体的取組をスタートしました。そして、平成28年度～29年度は、第二次推進計画に基づき、平成30年度～31年度は、第三次推進計画に基づき、更なる充実と発展に取り組んでまいりました。

これまでの実績を振り返って、取り組みを検証し、継続させる必要があるものについては事業の拡充等の検討を、見直しを必要とするものについては新たな事業の展開を、第四次推進計画を策定して取り組むことにより、活性化をより形あるものにして有効化してまいります。

1 進路支援プロジェクト

普通科高等学校として、基礎学力の定着をはじめ、生徒の進路希望の幅を拡充し、進路実現に向けた具体的手立てへの支援を行います。

(1) 進学対策課外授業

大学・短大・医療看護系専門学校等への進学希望者には、度会校舎が作成する進学対策プログラムによって、塾等の講師及び度会校舎の教員等による「国語」「数学」「英語」等の進学対策課外授業を早期から実施します。

さらに、文系希望者には「社会」、理系希望者には「理科」の必要教科・科目の個別対応指導を進めます。

<平成28～29年度具体的取組>

① 塾等の講師による進学対策課外授業

・「英語」「数学」「国語」等の進学対策課外授業の実施

1年生希望者対象講座

2, 3年生希望者対象

② 早期からの大学等の見学、オープンキャンパスへの参加

【課題と今後について】

進路について、各家庭の諸事情等から進学を希望する生徒が少なく、就職希望の生徒が多いことから、事業を活用する生徒が少なかった。今後は、新たなニーズの掘り起こしも行い、例えば職業選択の幅を広げ、有利にはたらく履歴書に記

入ることが出来る資格を取得する講座を新たに設けて、進学対策課外授業と併せて活用状況を見る。

<平成30～31年度具体的取組>

- ① 塾等の講師及び度会校舎の教員等による進学対策課外授業
・「英語」「数学」「国語」等の進学対策課外授業の実施
学年ごとに一人ひとりのレベルに合わせた課外授業を実施していきます。
- ② 早期からの大学及び企業等への見学、大学説明会・オープンキャンパスへの参加
- ③ 進路意識向上等に関係する講演会等を実施し、経験談などから具体的な将来像をつかむヒントとする。

【課題と今後について】

進路について、各家庭の諸事情等から進学を希望する生徒が少なく、就職希望の生徒が多いことから、事業を活用する生徒が少なかった。今後も、生徒及び保護者への進路説明会や面談等を通じて、新たなニーズの掘り起こしも行う。

<令和2～3年度具体的取組>

- ① 塾等の講師及び度会校舎の教員等による進学対策課外授業
・「英語」「数学」「国語」等の進学対策課外授業の実施
学年ごとに一人ひとりのレベルに合わせた課外授業を実施していきます。
- ② 早期からの大学及び企業等への見学、大学説明会・オープンキャンパスへの参加
- ③ 進路意識向上等に関係する分野別相談会や講演会等を実施し、経験談などから具体的な将来像をつかむヒントとする。

(2) 自己学習支援

生徒が自学できる学習室を活用し、タブレット等情報通信機器を活用した自己学習を推進します。上記進学課外授業においてもタブレットの活用を図ります。

<平成28～29年度具体的取組>

- ① タブレットの活用……「スタディサプリ」等を活用した学習の展開。進学課外授業における活用促進。

【課題と今後について】

平成27年度の活用が8/10台だったのに対して、平成28年度の活用状況は4/10台と半数に減少した。学年の状況にもよるが、活用方法について再検討する必要がある。

<平成30年～31年度具体的取組>

スタディサプリの運用を継続しつつも、基礎学力向上及び思考力、表現力、判

断力につながるよう授業における活用や、資格取得及び社会性向上につながるソフトウェアの導入などの別の有効的方法についても検討する。

【課題と今後について】

平成30年度に、タブレットの台数が40台に増加したによって、クラス単位での活用が可能となり、授業での活用が実施された。今後は、学年の状況に応じるとともに、各教科での効果的な活用方法をさらに検討する必要がある。

<令和2～3年度具体的取組>

生徒の基礎学力向上につながるような個別学習等における活用や、主体的・対話的で深い学びにつながるような授業における活用、資格取得及び社会性向上につながる有効な方法についても検討する。

(3) 基礎学力の定着

学び直しを望む多くの生徒の存在を踏まえ、その機会の充実や、生徒の実態により即した授業改善に努め、自己目標の実現に向け、生徒が主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせます。

<平成30～31年度具体的取組>

講演会等を実施し、経験談などを通して具体的な将来像をつかむヒントを与え明確な目標を持ち、積極的に学ぶ姿勢をさらに身につけさせる。

<令和2～3年度具体的取組>

講演会等を実施し、経験談などを通して具体的な将来像をつかむヒントを与え明確な目標を持たせるとともに、進路ガイダンスにおける分野別体験授業等を通じて、積極的に学ぶ姿勢をさらに身につけさせる。

(4) 公務員就職支援

公務員を希望する生徒には、専門講師招聘による対策講座を実施し、傾向と対策についての個別学習を支援します。

希望者は、度会町役場等でのインターンシップを実施することで、卒業後の進路イメージを膨らませるとともに、進路実現に向けてのモチベーションを高めます。

<平成28～29年度具体的取組>

① 公務員対策講座の実施（希望者対象）

・公務員専門学校講師による公務員対策講座

② 度会町役場でのインターンシップ

・1，2年生の希望者による3日間、度会町役場でインターンシップ

【課題と今後について】

インターンシップは平成27年度、28年度ともに数名が行った。

公務員対策講座については、平成27年度の利用者が3名、平成28年度は2名と少数の利用実績しかなかった。しかし、少数ながら、公務員としての就職希望者はあることから、公務員試験を受験する生徒への学習の質を高めることを目的として、事業は継続することとし、生徒への周知や受講勧奨などを積極的に行っていく。

<平成30～31年度具体的取組>

- ① 大学、短大等の進学及び上級資格取得を目指す教養コースと、基礎基本、社会に出て即戦力となる学力や、コミュニケーション能力の向上を目指す実践コースの2つの類型コース制の導入
- ② 公務員対策講座の実施
 - ・公務員専門学校講師による公務員対策講座
- ③ 度会町役場でのインターンシップ
 - ・1, 2年生希望者による度会町役場でのインターンシップ

【課題と今後について】

インターンシップは平成30年度、令和元年度ともに数名が行った。

公務員対策講座については、平成30年度の利用者が4名、令和元年度は3名と少数の利用実績しかなかった。しかし、少数ながら、公務員としての就職希望者はあることから、公務員試験を受験する生徒への学習の質を高めることを目的として、事業は継続することとし、生徒への周知や受講勧奨などを積極的に行っていく。

<令和2～3年度具体的取組>

- ① 大学、短大等の進学及び上級資格取得を目指す教養コースと、基礎基本、社会に出て即戦力となる学力や、コミュニケーション能力の向上を目指す実践コースの2つの類型コース制の導入
- ② 公務員対策講座の実施
 - ・公務員専門学校講師による公務員対策講座
- ③ 度会町役場でのインターンシップ
 - ・1, 2年生希望者による度会町役場でのインターンシップ

(5) 資格取得の促進

普通科でありながら商業科目も開設している利点等も生かし、希望者の商業科、国語科、英語科、理科においての資格取得を促進します。

- ・ビジネス文書実務検定1級を目指す。
- ・漢字検定3級以上を目指す。
- ・英語検定準2級を目指す。
- ・危険物取扱者乙種4類を目指す。

【課題と今後について】

具体的な資格取得講座を開設することができなかったので、今後、取得希望状況などを把握しながら、適切な教材を使用し、タブレットの新たな活用を推進する。
＜平成30～31年度具体的取組＞

資格取得講座について

漢字検定や英語検定なども含め、就職選択の幅を広げ、記入した際就職試験等に有利にはたらく資格を取得するためにタブレット学習の活用も図り、積極的なより上級の資格取得支援を実施する。

さらに医療事務関係の資格取得につながる講座等の開設や秘書検定取得に向けた講座等の開設を進める。

【課題と今後について】

取得希望生徒に対して、放課後に個別指導を実施した。その結果、平成30年度における漢字検定、3級3名、準2級2名、2級1名が合格し、また、英語検定準2級は1名が合格した。今後も取得希望状況などを把握しながら、タブレットの活用も含め、適切な教材を使用し、個別指導の推進に努める。

＜令和2～3年度具体的取組＞

資格取得講座について

漢字検定や英語検定なども含め、就職選択の幅を広げ、記入した際就職試験等に有利にはたらく資格を取得するために、タブレット学習の活用も図り、積極的に支援する。

(6) キャリア教育

就職意識を深めるとともに、進路目標を具体的に持たせるため、身近な存在である卒業生や地域で働く方と接する機会をつくる。

また、個別面談による早期からの意識づけや、挨拶を基盤としたコミュニケーション能力の向上を図ります。

＜平成30～31年度具体的取組＞

一斉形式事業所説明会及びブース形式事業所懇談会の実施について

企業の採用担当者等を校内に迎え、一斉形式事業所説明会及びブース別の入社説明や会社概要などを受ける機会を設け、社会人としてのイメージや意識を育む。

＜令和2～3年度具体的取組＞

一斉形式事業所説明会及びブース形式事業所懇談会の実施について

企業の採用担当者等を校内に迎え、一斉形式事業所説明会及びブース別の入社説明や会社概要などを受ける機会を設け、学年に応じて社会人としてのイメージや意識を育む。

(7) 就職後ケア・求人開拓

新卒業生の就職先事業所を訪問するなどして、就職後のケアや早期離職の防止に努め、事業所との関係づくりや新たな求人募集に努めます。

度会町内においては、度会町商工会等の協力の下、連携して求人開拓に努めます。

<平成28～29年度具体的取組>

商工会と度会校舎進路指導主事、就職支援相談員との連携による求人開拓
【課題と今後について】

平成28年度は、就職を希望する生徒全員が卒業までに就職（就職率100%）した。就職においては、生徒の特性と事業所のマッチングが非常に重要であることより、今後もきめ細かな支援を行っていく。

<平成30～31年度具体的取組>

引き続き、行政、商工会や教員、相談員との連携による求人開拓を、生徒が憧れる企業を含めて努めていく。

【課題と今後について】

平成30年度は、学校斡旋で就職を希望する生徒全員が卒業までに就職した。就職においては、就職率100%を目指すとともに、生徒の特性と事業所のマッチングが非常に重要であることより、今後もきめ細かな支援を行っていく。

<令和2～3年度具体的取組>

引き続き、行政、商工会や教員、相談員との連携による求人開拓を、生徒が憧れる企業を含めて努めていく。

2 地域連携プロジェクト

度会町の地域性を活かした郷土学習や体験学習を通じ、生徒らが主体的に考え、行動する力を育成するとともに、度会町への愛着、愛郷心を育むことで、豊かな学校生活を送り、地域への定住を図り、延いては地域全体の活力を高めます。

(1) 地域学習支援

地域ボランティア団体等の協力の下、度会町の史跡巡りや自然・歴史の学習を通じて、度会町の良さを知り、地域の中心となって地域交流行事に参加します。若者の観点から、町観光事業への提案等も積極的に求めていきます。また、従来から実施している茶摘み体験のほか、農業や林業に着目した体験学習も支援します。

<平成28～29年度具体的取組>

①地域の史跡めぐりの実施

* 町のマイクロバスの利用

②地域の産業の体験

- ・いせしま森林組合と連携し、林業を体験
- ・茶業組合と連携し、度会町の茶業を体験

③町の観光などに関する高校生によるアイデア提案の場の創出

【課題と今後について】

度会町の代表的な産業である茶業体験の一つとして、1年生の生徒全員が南勢校舎生徒・度会小学校児童・皇學館大学生とともに茶摘みを体験し、また2年生希望生徒が総合的な学習の時間を活用し、林業体験を行った。

地域の史跡めぐりでは、地域ボランティア団体等のご指導により、地域を深く学ぶ機会を得ている。

今後も、町の観光開発も視野に入れた郷土教育の側面及び自己有用感の育成の観点からも事業を実施する。

<平成30～31年度具体的取組>

これまでの取組を拡充し、地元小、中学校との連携も視野に入れ実施していく。

【課題と今後について】

度会町の代表的な産業である茶業体験の一つとして、1年生の生徒全員が南勢校舎生徒・度会小学校児童とともに茶摘みを体験し、また2年生希望生徒が総合的な学習の時間を活用し、林業体験を行った。

地域の史跡めぐりでは、地域ボランティア団体等のご指導により、地域を深く学ぶ機会を得ている。

今後も、町の観光開発も視野に入れた郷土教育の側面及び自己有用感の育成の観点からも事業を実施する。

<令和2～3年度具体的取組>

これまでの取組を拡充し、地元小、中学校との連携も視野に入れ実施していく。

(2) ボランティア活動支援

高校生の若い活力を地域の様々な活動の場で発揮し、地域の活性化に貢献する生徒を育むため、生徒がボランティア等で活動できる機会を積極的に提供し、支援します。

<平成28～29年度具体的取組>

① 地域のイベントや行事に度会校舎生徒が運営等のボランティアとして参加するように校内で積極的にボランティアを募る。

② 「度会フェスタ in 鏡」においてブースを設けて展示等による学校紹介

【課題と今後について】

これまでも宮リバー度会パーク春まつり等の度会町が主催する複数のイベント等に積極的に参加するとともに、選挙事務のボランティアにも参画し、新聞報道にも大きく取り上げられた。また度会フェスタ in 鏡においてブースを設けて学校紹介を行った。

<平成30～31年度具体的取組>

これまでの取組を踏まえ、これからも生徒の自己有用感育成に加えて、度会校舎のPRの観点からも継続して実施していくとともに、活動する場の拡充を図っていく。

【課題と今後について】

これまでも宮リバー度会パーク春まつりや度会町民文化祭芸能発表会等の度会町が主催する複数のイベント等に積極的に参加するとともに、選挙事務のボランティアにも参画した。また度会フェスタ in 鏡においてブースを設けて学校紹介を行った。

<令和2～3年度具体的取組>

これまでの取組を踏まえ、これからも生徒の自己有用感育成に加えて、度会校舎のPRの観点からも継続して実施していくとともに、生徒が主体的に活動する場の拡充を図っていく。

(3) 施設の利用

従来から実施されている図書館の地域開放に加え、「わたらいキッズ・チャレンジ教室」との連携を深め、地域の幼児、小学生に図書館の魅力を発信していく。さらに小中学生のスポーツ活動や異校種交流事業等の機会を活用し、小・中学生らが度会校舎へ来校する機会を増やすことで、度会校舎への親近感や愛着心を育みます。

スポーツ活動においては、有名選手や指導者を招き、小中高の児童生徒が合同でスポーツを楽しみ、体力向上に努める機会をつくります。

<平成28～29年度具体的取組>

- ① 有名スポーツ選手・指導者を度会町に招聘し、度会校舎を会場に小中高の児童生徒が合同でスポーツを通じて交流（スポーツメーカー等の講師によるソフトテニスの交流等）（平成28年度）
- ② 度会校舎のテニスコートでの度会中学校テニス部との合同練習等

【課題と今後について】

度会校舎において、ソフトテニス部を中心として合同練習を複数回実施し、結果として度会校舎への入学を希望した中学生もいたことより、本事業を拡大継続させ、さらに度会校舎トレーニング室の開放を図り、中学生の体力向上とともに度会校舎に親しみを持ってもらう機会を拡充する。

<平成30～31年度の具体的取組>

これまでのソフトテニス部や陸上部を中心とした合同練習等の取組を継続して実施していくとともに、度会校舎トレーニング室の開放を図り、中学生の体力向

上とともに度会校舎に親しみを持ってもらう機会を作る。

【課題と今後について】

度会校舎において、ソフトテニス部を中心として合同練習を複数回実施し、結果として度会校舎への入学を希望した中学生もいたことから、本事業を拡大継続させ、さらに度会校舎トレーニング室の開放を図り、中学生の体力向上とともに度会校舎に親しみを持ってもらう機会を拡充する。

<令和2～3年度の具体的取組>

これまでのソフトテニス部や陸上部を中心とした合同練習等の取組を継続して実施していくとともに、度会校舎トレーニング室の開放を図り、中学生の体力向上とともに度会校舎に親しみを持ってもらう機会を作る。

3 学校広報プロジェクト

度会校舎への理解を深めるため、中学生、保護者ならびに地域住民への広報活動を実施します。

進学先を決める中学生やその保護者は、学校説明会や高校生活入門講座（オープンスクール）、また県教育委員会ホームページの県立高等学校案内等から各学校の情報を得ることができます。進学先の候補となるには、度会校舎の良さを広くアピールし、興味・関心をもってもらうことが第一です。また、活性化計画の「2（1）生徒・保護者の意向から」でもわかるように、生徒や保護者が求めている情報を具体的に示し、丁寧な進路指導の現状や、少人数の環境だからこそ育まれる独自の魅力をしっかり伝えていきます。

<平成28～29年度具体的取組>

① 出前授業

- ・度会校舎教職員による出前授業を各中学校で実施することにより、中学生やその保護者に度会校舎への理解を深めてもらうとともに、親しみをもってもらう。

② 度会中学校との交流

近隣市町への働きかけも重要ですが、度会中学校の生徒、保護者また教職員とは学校行事や部活動等の教育活動を通じた相互交流を行います。

- ・有名スポーツ選手・指導者を度会校舎に招き、小中高の児童生徒が合同でスポーツを通じて交流（スポーツメーカー等の講師によるソフトテニスの交流等）
- ・度会校舎のテニスコートでの度会中学校テニス部との合同練習等
- ・度会校舎陸上部指導者による度会中学校陸上部外部指導

③ 広報活動

学校の取組や生徒らの活動をより多くの方に知ってもらうため、学校ホーム

ページの更新や生徒会誌の活用を図るとともに、度会校舎生徒募集のポスターや学校紹介 DVD の作成を進めます。また、近隣中学校や学習塾への個別訪問を積極的に行います。

度会町広報紙や町ホームページ等においても、小・中学生との交流の様子を伝え、地域住民への広報活動に努めます。

- ・毎月発行している町広報紙の連載コーナー「度会スクールインフォメーション」で、度会小中学校と度会校舎との交流を掲載し、地域住民への広報活動を実施します。
- ・度会校舎生徒会誌・ポスター等を度会中学校に掲示し、学校紹介 DVD を視聴する機会を提供する。
- ・度会郡・伊勢市・多気郡の各中学校への個別訪問による学校説明を複数回実施。
- ・伊勢・度会地域等の塾への個別訪問による学校説明を実施
- ・松阪地区における進学説明会で学校紹介を実施

【課題と今後について】

度会校舎の入学者数は、地元中学校からの志願者数に大きく左右される現状を踏まえ、町内中学校をはじめ地元中学校生徒の度会校舎への関心を高めるために最大限の広報活動を継続させていく。

＜平成30～31年度の具体的取組＞

これまでの取組を継続して実施していくことを基本とし、度会校舎教職員による出前授業を地元中学校で実施するとともに、中学校に代表生徒を同行させ、生徒から直接中学生や中学生の保護者に高校の PR を実施するなど、より興味・関心を持つ方法による広報活動を模索し、展開していく。

また、ホームページの内容を定期的に更新し、内容を充実させて高校入学後の様子を感じ取れるようにする。

更に、高校の現状を知らせるためにも、度会校舎生徒募集のポスターやプリント、学校紹介 DVD を作成、配付等を行うことにより、一層の PR を行う。

【課題と今後について】

度会校舎の入学者数は、地元中学校からの志願者数に大きく左右される現状を踏まえ、町内中学校をはじめ地元中学校生徒の度会校舎への関心を高めるために最大限の広報活動を継続させていく。

＜令和2～3年度の具体的取組＞

これまでの取組を継続して実施していくことを基本とし、度会校舎教職員による出前授業を地元小中学校で実施するとともに、当該校に代表生徒を同行させ、

生徒から直接児童生徒や、その保護者に高校の PR を実施するなど、より興味・関心を持つ方法による広報活動を模索し、展開していく。

また、ホームページを更新し、内容を充実させて高校入学後の様子が感じ取れるようにする。

更に、高校の現状を知らせるためにも、度会校舎生徒募集のポスターやプリント、学校紹介動画を作成、配付等を行うことにより、一層の PR を行う。